



# 温かな「大家族主義」を貫き 全従業員の物心両面の幸福を追求。

(株)小野組  
管理部 執行役員管理部長 須貝 真司 さん

こんな取組を  
推進しています!

**1** ノー残業デー導入から  
始める働き方の見直し  
まずは管理部からスタート。残業時間  
チェックでオフを充実

**2** 1時間単位で取れる  
年次有給休暇  
子供の学校行事や通院などに使い  
やすいと好評。1時間単位の有給休暇

**3** 月1回の「社長通信」で  
メッセージ  
社長が全社員にメール。トップの思い  
をみんなで共有

**当** 社は明治21(1888)年の創業以来「和合」の精神を  
柱とし、信頼の実績と確かな技術、そして創意と工  
夫で伝統を積み重ねてきました。土木・建築を生業とするた  
め、男性社員が圧倒的に多いのですが、男女が共に仕事と  
家庭を両立できるような支援策を取り入れ、社員のワーク  
ライフ・バランスの推進を図っています。

そのひとつが昨年から管理部に導入された「ノー残業  
デー」。毎週水曜日は午後5時で退社しようと、トップからの  
アナウンスがあります。「ノー残業デー」が導入されてから部  
内の意識が変わりました。「チームごとに業務内容の共有化  
を一層図るようになった」「チーム内のコミュニケーションが  
良くなった」との声も聞かれます。今後これを他の事業部にも  
広げていきたいですね。

年次有給休暇の取得推進はこれからの課題ですが、1時  
間単位で取得できる当社独自の制度は社員に好評。育児や  
介護、自身の通院などに活用されています。

社員一人ひとりが大切な家族であるという「大家族主  
義」を貫き、人材育成に力を入れる小野貴史社長は、月1回  
社員全員に「社長通信」と題したメールを送っています。1月  
のテーマは小野組の「働き方改革」。「国の方針をベースに  
社員全員が同じベクトルを向いていこう。小野組らしい『働  
き方改革』を考えよう」という内容でした。折に触れて発信  
されるトップからのメッセージは、社員の心に届いているよ  
うです。

当社は地域に密着する企業としてCSR活動にも力を入れ  
ています。園児を対象とした「絵本読み聞かせ&えんぴつ教  
室」、現場近くの学校を対象とした「キャリア学習」、クリーン  
作戦などです。昨年夏には研修センター「和合館」を市民に  
開放し、自由に使っていただきました。

今後もさまざまな活動を通し、社員同士が協力し合える  
職場風土づくりやマネジメント能力アップにつながる取組を  
推進してまいります。



## 毎日早く帰れる働き方を工夫し “朝型人間”に変身しました!

イクメン社員  
大野 智也 さん(43歳)

結婚してすぐ子どもに恵まれました。周囲からは育児休業取得を勧められていましたが、ひとつの現場  
を任されている責任は重く、長く休む気持ちにはなれませんでした。建築・土木の現場はICTなどの技術  
革新が目まぐるしく、日々の現場監理、顧客とのやり取り等を滞らせるわけにはいかなかったのです。

そこで考えたのが「残業の前倒し」。現場が動き出す2時間ほど前に事務所に入り、その日の段取りを  
組むことで定時退社を目指しました。自分のリズムを朝に持ってくることで能率が上がり、作業効率もス  
ムーズに。現場ごとの自由度が高いので、こうした環境を作ることができました。

朝は娘の寝顔を見てから出勤、効率よく仕事を終えて帰宅したら娘を風呂に入れ身の回りの世話をします。妻の負  
担を軽くするよう洗濯や掃除などできることも全部やります。

間もなく妻の育児休業が終わり仕事に復帰しますが、朝型モードは継続し資格の勉強に充てたいと思っています。  
娘が大きくなったら会社主催の「地引綱」を体験させたいですね。



●所在地:胎内市 ●業種:土木・建築各工場の設計・施工、不動産業 ●従業員:170人

【業務内容】本社は胎内市にあり、創業130年を超える総合建設業の雄。住宅事業としては「建築家との家づくり」を、また  
新潟と横浜では「ロクワの家」も展開。廃校を利用したイチゴ栽培「いちごカンパニー」などユニークな事業も手掛ける。



## 私たちはイクメン応援宣言企業です!

新潟県では、男性労働者が育児に参加しやすい職場環境づくりに積極的に  
取り組む企業を「イクメン応援宣言企業」として登録しています。

もっと詳しく知りたい方は

にいがたイクメン応援宣言

<https://niigata-ikumen.jp>